

特集 小・中学校再編へ

当町でもいよいよ大論争が始まろうとしている。国は、平成28年新たに「義務教育学校」進む中、将来のグローバル化や公共施設のありかたを考える時期に入ってきた。教育の地解消していきたい。では、当町はどうしていくのか。かつて経験した再編の際の労苦は生だらうか。この国は島国であり、資源が少ないとされている。そんな中、「子供」という貴

① 制度を設け、自治体の教育環境の変化・多様化への取り組みを始めた。同時に少子化が域格差や家庭の経済格差で、子供たちの学力や幼少期のさまざまな経験に差が出ることはかかれるのか。まずは、現状把握と将来を想像できる環境づくりも必要になるのではない重要な資源(宝)を育てていく必要があるのでは。さまざまな角度から町民の議論を望む。

